

# J A M 政策NEWS

【発行】J A M

【発行責任者】大山勝也

【編集】社会政策局

03-3451-2586

E-MAIL : [syakai@jam-union.or.jp](mailto:syakai@jam-union.or.jp)

## 坂口厚労大臣発言「政府案が歩み寄る可能性がある」とすれば、連合案」

### 厚労大臣、徴収事務の失敗認める

4月21日、衆議院厚生労働委員会では、引き続き、年金改正法案の審議が行われました。

民主党は、「国民年金の納付率が低下したのは、平成14年度より徴収事務が市町村から国に移管されたことが原因である。これは厚生労働省の省益を優先した結果ではないか。」と追及しました。坂口労働大臣は「国民年金保険料の滞納者が増えたのは、ご指摘の通り。市町村はキメの細かさが違う。失敗だったと思う、保険料徴収の専門員をおいて、地域でしっかり徴収してもらおう。」と述べました。また、「保険料を強制徴収するのなら、税で良いのではないか」と言う質問に対し、「税方式か社会保険方式かというのは、政府案、民主等案に共通の問題。政府案が一番近いのは連合案ではないか。連合案で示されているのは2025年までなので、その先の見通しが必要だ。連合案は歩み寄る可能性のある案ではないかと思う。ただし提案者としては政府案を審議し、採決していただきたい。その後一步前進するために、各党代表や労使が加わって年金について議論していただくのが良いと思う。」と答弁しました。

### 民主党、監修料・随意契約を厳しく追及

関東信越厚生局職員が贈収賄で逮捕された、「選択エージェンシー」問題で、民主党は「同社は厚生労働行政に関するパンフレットや書籍を作成し、厚生労働省の多くの官僚に監修料を支払っているようだが、これは問題ではないか。また川口技研問題（政策ニュース 21 参照）だが、金銭登録機や印刷ソフトなど随意契約で一括受注している。しかも現場ではほとんど使わ

れていないということだ。こんなムダ使いをして政府案を通そうというのか。」と厳しく追及しました。

これに対して坂口厚生労働大臣は、「国の補助金が出ている事業に厚生労働省の職員が係わっているとすれば問題である。すべての問題の根本は『随意契約』にある。今後は一切やめて、入札にする。」と答弁しました。

### 連合・笹森会長、参考人意見陳述

4月22日、衆議院厚生労働委員会では、連合、経営者団体、学識経験者などによる参考人意見陳述を行いました。笹森会長は「政府案、民主党案はいずれも課題がある。国民は年金の問題が見え始めてきた。政府案は国民の年金不信、空洞化の解消がますます広がるようなことをやっている。国民年金空洞化のしわよせは、労働者にきている。また政府案は『国民年金の土台をどのように立て直さなければならないのか』という一番大事なことに触れていない。いつも数字あわせばかりである。国民のために真の抜本改革を行ってほしい。」と力強く、意見陳述をしました。

### 年金改悪阻止 4.21 国会行動

連合は4月21日、標記の行動を実施。国会前集会や座り込みに2375人が参加し、民主党などの議員とともに政府年金法案の成立阻止を誓いました。国会裏と議員会館の前は組合員であふれかえり、「団結ガンパロー」の力強い声がこだましました。

### 【傍聴日記】

政策ニュース 21 でも登場した「金銭登録機」ですが、なんだろうと思いましたが、わかりました。これは電車の中で、よく車掌さんが乗り越しの精算などに使っているハンディータイプの携帯端末でした。川口技研の機械を、全国の社会保険事務所で購入したそうです。社会保険庁で一括購入すると、かなりの金額になるので、「入札」が必要になります。各社会保険事務所ごとに購入すると入札をせず、「随意契約」という形で購入できるということです。まったく、よく考えますよね！